

2023年2月28日

全国大学音楽教育学会会員各位

中部地区学会会員各位

全国大学音楽教育学会中部地区学会

会長 岡田 暁子〔公印省略〕

2022年度後期研究大会のご案内【最終案内】

拝啓 早春の候、会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、標記の件について下記のとおりご案内申し上げます。皆様お忙しい時期とは存じますが、多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- 日 時：2023年3月11日（土）13時00分～15時40分
- 場 所：岐阜聖徳学園大学（岐阜キャンパス）実技館
〒500-8288 岐阜県岐阜市中鷯一丁目 38 番地
- 方 法：対面及び Zoom 併用のハイブリッド開催 ※1
- 参加費：無料
- 内 容：13時00分 開会・諸連絡
13時05分 講演
「音楽表現系の授業に活かすダルクローズのアイデア」※2
講師：土門 裕之 氏
14時30分 休憩
14時40分 研究発表（口頭）（発表15分＋質疑応答5分／1発表）
 - ① フォルマシオン・ミュージカルはフランスでどう捉えられているか
友永 良子（修文大学短期大学部）
 - ② 保育現場における伴奏楽器としてのアコーディオンの有用性と課題
岡田 暁子（名古屋学芸大学）

③ ウィンナ・ワルツ (Wiener Walzer) における指揮法の比較

- An der schönen, blauen Donau Op.314 / Johann Strauss II. (Sohn),

1825 - 1899 を題材に -

木許 隆 (岐阜聖徳学園大学短期大学部)

西岡 雄太 (名古屋学芸大学)

15 時 40 分 閉会・諸連絡

※1: 前回と同様、対面と Zoom によるライブ配信を併用して行いますが、今回の講演は実技を伴いますので、可能な限り是非対面でご参加ください。

※2: 服装について: 当日は、動きやすい服装でお越しください。

=====

講演講師 土門 裕之 氏 略歴

北海道教育大学札幌校特設音楽科卒業後、渡米。ジュリアード音楽院、ダルクローズ音楽院で、作曲法、指揮法、音楽教育法を学ぶ。1983 年、ダルクローズ音楽院卒業と同時にダルクローズ音楽教育法の国際指導者ライセンスを取得し、帰国後は学生による拓殖大ミュージカルを創設。36 年間にわたり台本・作曲を手掛けた。

学生のためのピアノテキストや音楽理論書などの著書、ミュージカル作品、合唱曲、CM 音楽、オーケストラ作品等、多数。異色な研究では、第 69 代横綱白鵬関研究 (拓殖大学) の教育分野を担当。

日本音楽表現学会理事、全国保育士養成協議会常任理事、拓殖大北海道短期大学保育科長、副学長 拓殖大学評議員、北海道教育大学旭川校非常勤講師、フレーザーバレー大学交換教授 (カナダ BC 州 1999~2000)、旭川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、などを歴任。現在、旭川音楽振興会常務理事、日本ダルクローズ協会免許制度登録講師 (ライセンス)、拓殖大学北海道短期大学名誉教授。

3 年前に 62 歳で早期退職し、妻と一緒にヨットで北海道を出航し日本海を南下。以来、九州の別府をホームポートにして北海道と九州を行き来しながら、日本の自然や温泉、食文化の多様さを堪能する自由人生活を送っている。

=====

○ 参加申込み締切り: 3 月 3 日 (金)

Google フォームでのお申込みとなっております。

※Google アカウントをお持ちでない方もお申込みいただけます。

下記アドレスにアクセスし、必要事項をご記入のうえ、送信してください。

参加申込みフォーム：<https://forms.gle/XYTtouGLwnDG4fDP8>

- 研究発表のパソコン・プロジェクターへの接続リハーサルは、12時30分から行います。発表者は12時30分にお集まりください。
- オンラインにて参加される先生方には、後日 ZoomURL をお送りいたします。
当日は12時45分より参加可能です。
- お問い合わせ先：事務局 武田恵美 (takeda@hokurikugakuin.ac.jp)

以上